

授業科目 基礎老年学

【担当教員名】 東江 由起夫	対象学年	2	対象学科	義肢	
	開講時期	後期	必修選択	必修	
	単位数	1	時間数	15	
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎		○	○		
【概要・一般目標：GI0】 個々の高齢者の生活機能に適した福祉用具を選定するために、高齢者の運動機能、感覚機能、精神機能、特有の疾患、高齢者総合機能評価、介護レベルについて学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本科目の概要と学習目標、成績に関わる評価方法について理解している。</li> <li>2. 日本の高齢者の疫学的人口動態について説明できる。</li> <li>3. 高齢者の運動機能、感覚機能、精神機能等について理解している。</li> <li>4. 高齢者特有の疾患について知っている。</li> <li>5. 高齢者総合的機能評価について知っている。</li> <li>6. 高齢者の介護レベルを理解している。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ガイダンス、高齢者の概要（疫学）			1, 2	講義
2	老化と老年病（運動機能の加齢変化）			3	講義
3	老化と老年病（感覚機能の加齢変化）			3	講義
4	老化と老年病（精神機能の加齢変化）			3	講義
5	高齢者の疾患 1			4	講義
6	高齢者の疾患 2			4	講義
7	高齢者総合的機能評価			5	講義
8	高齢者の介護レベル（介護認定）			5, 6	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		老年学テキスト	編集：飯島節 / 鳥羽研二	南江堂	2013・4,200円＋税・ISBN 978-4-524-24021-0
参考書		高齢者の生活機能の総合的評価	鳥羽研二	新興医学出版社	2010・4,200円
その他の資料					
【評価方法】 最終筆記試験 70%、小テスト 20%、レポート 10%とする。		【履修上の留意点】 ※原則、授業の 1 / 3 を欠席した者は、科目評価資格を失うものとする。また欠席 1 回につき - 3 点、遅刻 1 回につき - 1 点、遅刻 2 回につき - 3 点を、最終評価から減点する。			